

消防ポンプ車操法競技会



Q そもそも 消防ポンプ車 操法競技会って何?

A 消防操法とは、火災消火を想定した基本操作訓練の1つで、競技会はその技術やスピードを競い合うものです。設置された防火水槽^{かてん}から給水し、火災現場を意識した火点^{かてん}と呼ばれる的にめがけて放水し撤収するまでが一連の動きです。各部5人1組で行い、選手の動きや言葉はあらかじめ決められています。選手たちの規律ある動作や的確な命令の伝達、滑らかな機械器具操作などたくさん見どころがあります。

町消防団では、6月11日(日)に火災を想定した出勤訓練および中継放水訓練、夏季点検と消防ポンプ車操法競技会を開催します。

毎年行われている「消防ポンプ車操法競技会」。年に1度、町内の消防団全11部が一堂に会し、消防操法の技術を競う大会です。名前は聞いたことがあるけど、内容は分からない...という人も多いのではないのでしょうか。実際の火災現場を想定して行われるこの競技会。各部は、練習の成果を十分に発揮し満足できる結果を残すため、日々懸命に訓練しています。

今回は、消防ポンプ車操法競技会の概要や採点方法等について簡単に解説します。